

働きやすい
職場づくり

やくし幼稚園での 取り組み

定時で帰れる日を増やす

大きな行事等が近いと、定時で帰れる日は少なくなってしまうますが、効率よく業務をこなすことで、無駄な時間が減り、終業時間も自ずと早くなります。

フリーの先生の配置

子どもたちの為に、工作の準備や環境を整えることはとても大事です。でも時間もかかります。そこでフリーの先生の手を借りて、複数の先生で効率よく準備をしています。

持ち帰りの仕事をなくす

残業時間を減らすということの裏には、持ち帰りのお仕事の存在があります。やくし幼稚園では持ち帰りのお仕事は〇（ゼロ）ではありませんが、極力なくすようにしています。

残業時間を減らす

誕生カードなどの手工作品を減らし、先生方の仕事を確保しました。先生だけが作るのではなく、子どもたちと一緒に作るものに変えています。工作などの考案も時間に余裕のある年度初めや、子どもたちの長期休業中に行っています。

給食日を増やす

やくし幼稚園では週4回給食です。親御さんにとっても週4回の給食は助かるようです。それは先生も同じ、先生方からは給食費は頂いていません。特に一人暮らしの先生にはありがたいですね。

土曜日出勤を減らす

土曜日の行事を除き、基本的に土曜日はお休みです。具体的には、運動会、やくし幼稚園まつり、いちにち入園などです。土曜日に出勤するのは年間5回ほどになっています。

住宅手当の拡充

一人暮らしの先生への住宅手当は、以前はありませんでした。それが年々少しずつですが増えて、今3万円になっています。家賃の2.5分の1くらいにはなります。

産休・育休の取得しやすさ

結婚しても働ける職場、子どもを持っても働きやすい職場を目指しています。

実際の産休・育休取得実績も上がっています。産休・育休取得希望者が、産休・育休を取得した実績は100%です！

その他にも、先生方が働きやすくなるような取り組みを休むことなく取り入れていきます。実際に働く先生方からもたくさん意見をいただいています！

年間休日数を確保（年休130日）

やくし幼稚園では130日の休日日数を確保しています。（担任教諭の場合）これは他の業界においてもなかなかない日数です。夏休みは8月のお盆時期を中心に17日前後、冬休みは年末年始で15日前後、春休みは7日前後のまとまったお休みがあります。お休み中に帰省や旅行、趣味や勉強に励むことができます。

年休が150日という幼稚園もありますが、その分残業が多い場合があります。（以前のやくし幼稚園もそうでした）

進化する幼稚園へ！